



平成20年5月9日

各位

会社名 株式会社 葵プロモーション  
 代表者 代表取締役社長 高瀬 哲  
 (コード番号9607 東証第一部)  
 問合せ先 専務取締役 八重樫 悟  
 TEL03(3779)8000

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年11月16日の中間決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

## 記

1. 20年3月期通期連結業績予想数値の修正 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)  
 (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	17,000	1,140	1,090	500	41.09
今回修正予想(B)	17,250	839	781	267	22.00
増減額(B-A)	250	△301	△309	△233	-
増減率	1.5	△26.4	△28.3	△46.6	-
(ご参考)前期(平成19年3月期)実績	14,832	575	575	138	11.40

2. 20年3月期通期個別業績予想数値の修正 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)  
 (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	14,300	855	895	455	37.39
今回修正予想(B)	14,597	566	613	259	21.34
増減額(B-A)	297	△289	△282	△196	-
増減率	2.1	△33.8	△31.5	△43.1	-
(ご参考)前期(平成19年3月期)実績	13,334	624	686	163	13.45

## 3. 理由

- ① 売上高は、わが国経済の動きを反映して広告需要が堅調に推移したことおよびグループ各社の営業努力が奏効し、連結・個別ともに既往最高を更新し前回発表予想を上回る見込みです。
- ② 各利益は、大きな比率を占める個別業績が、映画作品に係る制作費や投資有価証券の評価損計上に加え、株式市場の大幅下落等に伴う委託機関の運用成績低下による退職給付費用の負担増が大きかったため不振であったことと、再建途上にある子会社の欠損が大きく他のグループ各社の好業績を以ってしてもカバーできず、前回発表予想を大幅に下回る見込みです。

なお、期末配当金につきましては、平成20年2月25日公表のとおり、45周年記念配当2円を加えた20円とする予定であります。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上